

のた

○ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>
○Eメール soumu@vill.noda.iwate.jp



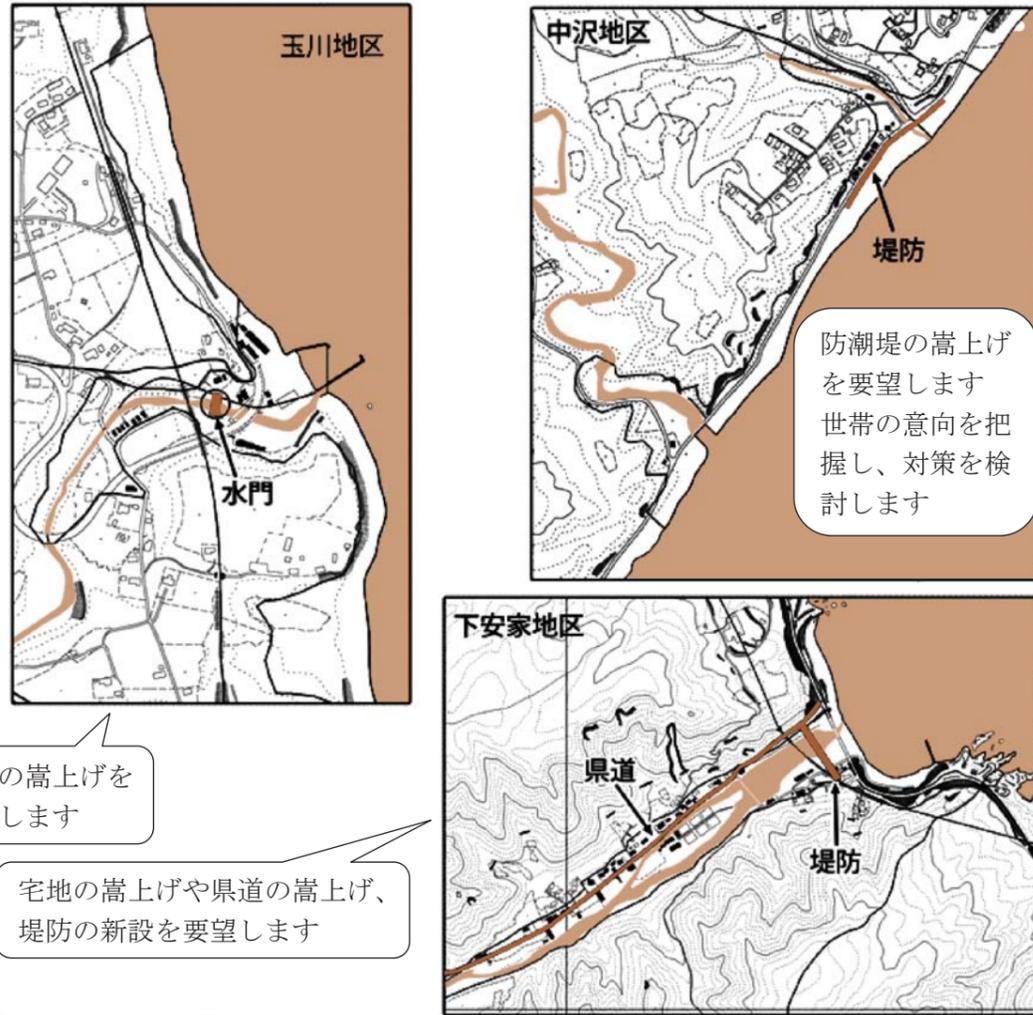
もうちょっと右!

久慈工業高校の久慈工祭は10月29日、30日に開催され、学校公開や生徒活動の発表・展示や、模擬店での弁当販売などが行われました。
バックホーの体験乗車では、複雑なレバー操作に子どもたちは悪戦苦闘!お兄さんに操作を教えてもらいながら、真剣な表情でシャベルを操作していました。

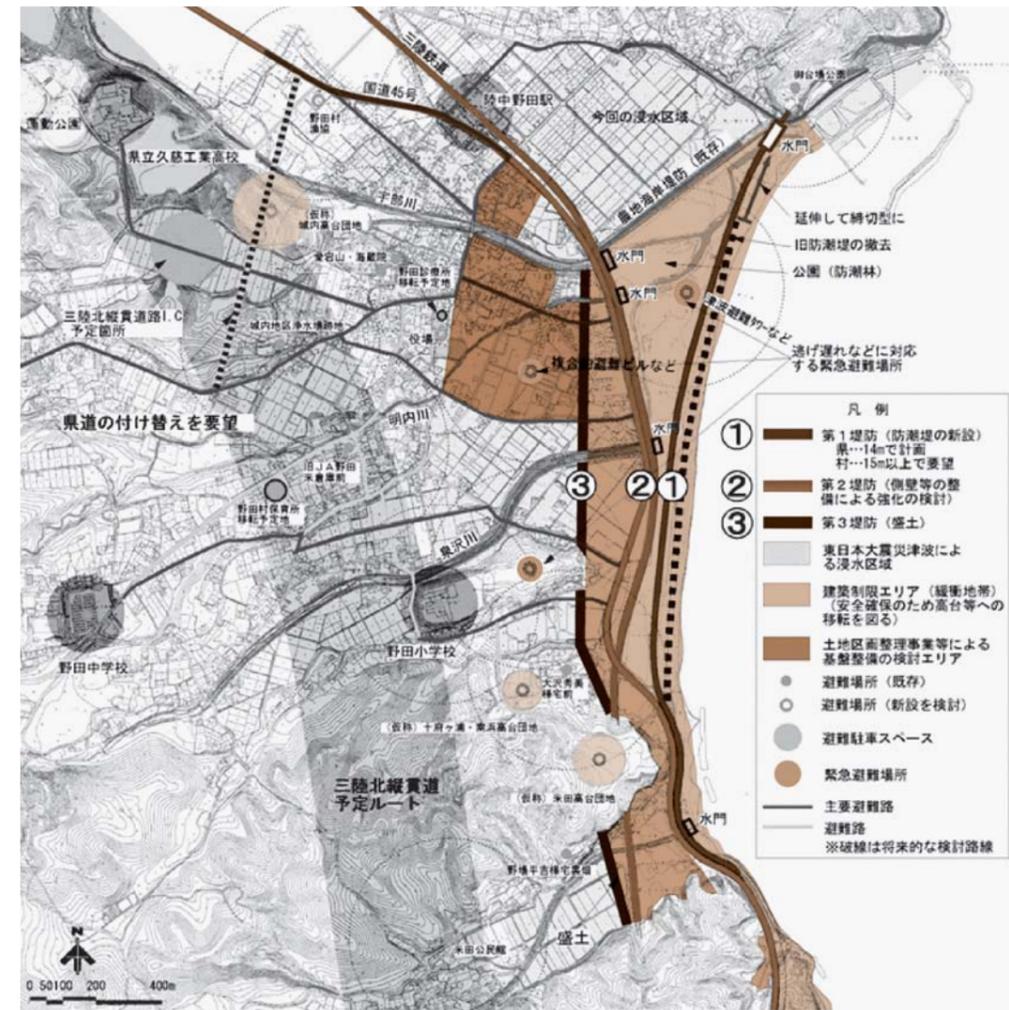
復興計画策定	2~3
ごみの捨て方	4~5
JA収穫祭 (村総合文化祭・産業まつりなど) ...	6~7
むらの話題	8~12
むらから、生涯学習コーナー	13~16
1歳になったよ、のたんちゅ	17
情報ステーション	18~19
一歩ずつ前に	20

主な内容

中沢・玉川・下安家区の復興パターン



城内・泉沢・米田・南浜地区の復興パターン



「東日本大震災津波復興計画」を策定

一人一人が将来に希望を持てるむらづくりの実現へ

主要事業の整備目標

項目	年度				
	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27
防潮堤の整備	防潮堤				→
	水門				→
高台団地の造成				→	
公営住宅の整備	→	→	→	→	
第3堤防の整備				→	
公園の整備					→
避難場所の整備					→
土地区画整理事業				→	
産業の復旧	→				

今後の予定

- 11月25日(金) 復興計画の冊子を行政連絡員を通じて全戸配布します。
- 11月21日(月)から 被災地区を対象に事業説明会や個別の意向調査を実施します。

第1堤防	東日本大震災津波の規模に対して、国道45号より陸側を浸水させない堤防を要望します
防潮林	流出しにくく、津波の減災効果が期待できる樹種などの検討を進め、レクリエーション機能を備えた公園として再生させます
第2堤防	三陸鉄道 三陸鉄道に海岸防護壁(側壁)を整備するなど堤防機能の強化を検討します
	国道45号 現位置とし、嵩上げを要望します
緩衝地帯	津波エネルギーを吸収するポケット状の公園を整備し、高台などへの移転を促進します。(個人の費用負担が極力少なくなる方法を検討します)
第3堤防(盛土)	建築制限エリアの境界線及びがれきなどの流失物の防災施設として盛土や防潮林を整備します。また、河川の切替えを要望します
土地区画整理事業	避難しやすい道路整備と併せ、土地のかさ上げなどを検討します

11月7日に開催された第4回東日本大震災津波復興本部会議で、村の震災からの復旧・復興にあたって指針となる復興計画を策定しましたので、お知らせします。

同計画の概要は、被害の大きかった城内・泉沢・南浜・米田地区を3つの堤防で守り、新たに整備する3番目の堤防から海側を非居住エリアとして、住宅の高台移転などを進めます。

城内地区の一部は避難路などの道路整備のために土地区画整理事業を行います。中沢・玉川・下安家地区についても、それぞれ対策を講じます。

村では、この復興計画をもとに具体的な取り組みや主要な事業を定める実施計画を来年2月までに策定し、村民一人一人の生活再建が果たせるよう、全力を尽くします。

村内の資源回収ステーション



不燃ごみの大半がリサイクル可能な資源ごみで占められています!!

特対課 つうしん

ごみ減量 新工ネ 定住・交流

■問い合わせ 特定課題対策課 ☎78・2111 (内260)

貴重な資源は正しく分別してリサイクルへ!

最近、アルミ缶やスチール缶などが不燃物に混入していたり、新聞、雑誌などが燃えるごみに出されていたり、正しく分別されていない例が多く見受けられます。アルミ缶や新聞紙などは貴重な資源です。正しく分別して資源ごみの日に出すか、資源回収を行っている回収ステーションに持ち込むなど、リサイクルとごみの減量化に努めましょう。



災害ごみの受け入れ 12月いっぱい終了!

村での災害ごみの撤去作業がほぼ完了したため、12月末で災害ごみの受け入れを終了します。

平成24年1月以降からは、自己負担で処分することとなりますので、未撤去のがれきに気がついた人は、役場地域整備課に連絡するようお願いいたします。

災害ごみ以外のごみを、仮置き場に搬入しないようにお願いします。

■問い合わせ
地域整備課 ☎78・2932

米田地区災害廃棄物仮置き場の水蒸気について

最近、米田地区災害廃棄物仮置き場で「白煙が上がっているが、火事ではないか」との問い合わせが村に多く寄せられています。

■白煙の原因

この白煙は火事によるものではなく、廃棄物の中で微生物などが反応することによって温度が高くなり、外気温が低下し水蒸気が発生して煙のように見えるものと考えられます。

■対策

現在、県北広域振興局で定期的に監視を行っていますが、温度やガス濃度など、火災に至る兆候はみられていません。

今後も村と振興局で連携し、米田地区災害廃棄物仮置き場の監視を引き続き行います。

■問い合わせ

県北広域振興局保健福祉環境部、環境衛生課 ☎53・4987

ごみ収集車が引火 問われる村民のマナー スプレー缶やガスボンベは必ず空に!!



ごみに火が付いたごみ収集車。迅速な初期消火で大きな被害には至りませんでした。



焼け焦げたごみ袋と、カセットボンベやスプレーの缶が見つかりました。

10月18日に北区で不燃ごみを収集していたごみ収集車で、ごみに火が付く事故が発生しました。

消火スプレーとバケツによる放水ですぐに火は消し止められましたが、収集車は主に住宅地を走っているため、収集車に燃え移ってしまった場合、周辺を巻き込んだ大規模な火災になる恐れがありました。

着火の原因は?

焼けたごみの周囲には、スプレーやカセットコンロ用のガスボンベが多く見つかりました。

これらの缶内に残っていた可燃性ガスが、ごみ収集車の中で押しつぶされたときに漏れ出し、なんらかの原因で引火したものと考えられます。

火災を起こさないためには

スプレー缶やガスボンベ、ライターなどをごみに出す際は、必ず中身を空にして、缶には穴をあけてから出してください。

ガスライターの捨て方

- ①中身を使い切る
- ②風通しがよく、火の気のない野外でガスを出す(テープや輪ゴムなどでスイッチを固定すると簡単です)
- ③スイッチを押しても「シュー」という音がしないことを確認して、不燃ごみに出してください



ライターのスイッチをテープなどで固定すると簡単にガス抜きができます

スプレー缶・ガスボンベの捨て方

- ①中身を使い切る
- ②風通しがよく、火の気のない野外で穴をあける(火花が出ないように注意しましょう)
- ③正しくガス抜きしたスプレー缶は、不燃ごみとして出してください。



必ず穴をあけてから、ごみに出してください



困難乗り越え堂々発表

野田中学校 文化祭

野田中学校（三船俊光校長、生徒132人）の文化祭は、10月22日に同校体育館で開かれました。

「敢為邁往（困難に屈せずにやりとおすこと）」のテーマのもと、劇や発表、合唱などを行い、日ごろの学習の成果を父母などに披露しました。

スピーチ発表では3年生の中村果歩さんが「悔いのない人生を生きる」をテーマに、震災により柔道の先輩の死に直面し、悲しみに襲われながらも、生きるということを見つめ直し、前向きに生きていこうとする決意を発表しました。



（写真上）
コミカルな演技で笑いを誘った1年生の劇
（写真左）
スピーチ発表を行った
中村果歩さん

こころひとつにがんばろう！岩手 収穫祭

（村総合文化祭・村産業まつり）



野田村保育所の園児による元気なよさこいソーラン

こころひとつにがんばろう！岩手 収穫祭は10月22、23日にJA新いわてが主催となり同農協支所や総合センターなどを会場として開催されました。

村の総合文化祭と産業まつりも同時に開催され、子どもから大人まで数々の団体が歌や演奏、ダンスなどを披露して、会場は大いににぎわいました。

会場では、新鮮な農産物などの試食、販売コーナーやJA女性部らによる手打ちそばや豆腐田楽が提供され、買い物客が多く集まりました。



美しい歌声を響かせたコールわさび



野田小合奏団によるジャズの演奏



野田中学校の有志によるよさこいソーラン



中学生まで野田村に住んでいた工藤朱美さん（写真左）や弘前大の学生らによるグラスハープアンサンブル



二日間行われた景品付き餅まきにはたくさんの方が集まりました



子どもたちに大人気だったアンパンマン交通安全キャラバン

県のコテストで入賞したお弁当がたくさんのお客が集まりました



児童らが一生懸命に発表

野田小学校 学習発表会

野田小学校（高橋啓司校長、児童197人）の学習発表会は、10月29日に同校体育館で「伝えよう ありがとう～みんなでつなぐ笑顔の輪～」をテーマに開かれました。

工夫を凝らした衣装に身を包んだ児童たちが、一生懸命練習した劇や組体操を披露し、会場に訪れた父母らは引きこまれるようにステージを見入っていました。



くじらぐもと友だちになって空を飛んだよ（1年生）

入賞お弁当が大人気

久慈工業高校 久慈工祭

久慈工業高校（遠藤敏夫校長、生徒208人）の久慈工祭は10月29、30日に行われ、「未来にはばたく力ここにあり」のテーマのもと、各科の紹介や、作品展示、各種体験や模擬店などが催されました。

同校料理同好会の模擬店で、8月に行われた県製菓調理コンテストで入賞した2種類の弁当が販売され、多くの方が買い求めていました。

谷地さん初の県大会優勝

第56回県高等学校新人柔道大会は10月21日、22日に花巻市で開催され、久慈高校の2年生、谷地瑛太郎さんが男子66^キ級で優勝、久慈東高校2年の佐々木楓美紀さんが女子52^キ級で準優勝に輝きました。

また、久慈高校は男子団体戦で3位に入賞しました。優勝した谷地さんは「目標は個人・団体でインターハイに出場して活躍すること。これからも頑張りたいです」と決意を話しました。ベスト8以上の入賞者は下表のとおりです。



準優勝の佐々木楓美紀さん



優勝した谷地瑛太郎くん



久慈高校男子団体チーム
(後列左から2番目が間明渉さん、前列中央が谷地瑛太郎さん)

個人戦

順位	氏名	階級	学校・学年
優勝	谷地 瑛太郎	男子66 ^キ 級	久慈高校2年
準優勝	佐々木楓美紀	女子52 ^キ 級	久慈東高校2年
ベスト8	小野 翔也	男子60 ^キ 級	久慈高校1年
	間 明 渉	// 66 ^キ 級	久慈高校1年
	川崎 聖人	// 81 ^キ 級	盛岡大学付属高校1年
	種 綿 一人	// 90 ^キ 級	久慈東高校1年

団体戦

第3位	久慈高校(男子)
-----	----------

海難救助に表彰状

10月13日に村漁協で海難救助者に対する八戸海上保安部長表彰が行われ、8月に海難救助を行った中川雄大さんと内野澤兼吉さんに表彰状が手渡されました。

表彰の理由は、本年8月に米田川河口付近の野田湾で、震災被害の測量を行っていた作業船が転覆し、2人の乗組員が海に投げ出され、救助の要請を受け、野田漁港にいた中川さん、内野澤さん、高田清秀さん、古舘正さんら4人が第五玉川丸で救助したことによるものです。

救助を行った中川雄大さんは「現場に到着するまで大変心配したが、大事に至らなくてよかった」と当時を振り返っていました。



海難救助を行った中川雄大さん(前列右から2番目)、内野澤兼吉さん(同3番目)、古舘正さん(同4番目)

三陸鉄道 復旧工事安全祈願祭・起工式

陸復興のシンボルに

三陸鉄道(株)の復旧工事安全祈願祭・起工式は3日に南浜地区で、望月正彦代表取締役社長や、達増拓也岩手県知事などが出席して、開催されました。

式では、東日本大震災で分断されたままとなっている同鉄道の復旧工事が安全に行われることを願い、関係者らによる鍬入れが行われました。

続いて行われた起工式では望月社長が「復興のシンボルとして、県内外の人を迎えて地域貢献を果たしたい」とあいさつしました。

同鉄道は分断されたままになっている陸中野田～田野畑間を平成24年4月までに復旧し、平成26年4月までに全線の復旧を目指しています。

北リアス線の復旧状況は右表のとおりです。



関係者らによる鍬入れ

宮古	山口	一田	佐の	田羽	根老	根老	待本	小越	高野	田代	普代	白井	堀内	野田	陸中	陸中	久慈	
3月20日 復旧済み								3月29日 復旧済み	3次復旧		1次復旧 平成24年4月 運行再開予定						3月16日 復旧済み	
																		平成26年4月 運行再開予定

安心・安全・便利でエコなむらづくりを!

- ①商工業者の復興と革新支援
 - ・ヒト・モノ・カネの支援、情報・ノウハウの支援、宅配事業で新たなニーズへの対応
- ②災害に備えたコミュニティづくり
 - ・災害時の拠点機能をもった震災記念館を建設し、震災記憶の引き継ぎを目指す
 - ・商工業者の集約によるワンストップ商業ゾーンの整備
- ③一次産業との新たな連携支援
 - ・水産業・農林業との連携による新たな生産物の発掘
- ④新産業の創出
 - ・木質バイオマス発電、体験型観光資源、新規創業者への支援

村商工会商工業復興ビジョンの概要

商 村商工業復興ビジョン 提言書まとまる

商 工業者の意欲を提言

村商工会商工業復興ビジョン検討委員会(委員長・中野富雄村商工会会長)は、このほど震災で被害のあった村の商工業を復興させるための商工業復興ビジョンを作成し、28日に村長に提言書を手渡しました。

同ビジョンは村内の商工業者へのアンケート調査の結果に基づき、全5回の委員会で意見を集約したものです。

中野委員長は「商工業者からのアンケート調査から、ゆるぎない復興や革新への意欲を感じました。商工業者の生の声を実現できるよう各機関と連携していきたい」と意気込みを語りました。

日向保育所 山ぶどう狩り バケツいっぱいのおいしさ

日向保育所(小野寺すみ園長)の4、5歳児19人は、10月19日に根井地区の滝沢農園で、山ぶどう狩りをしました。

園児たちは摘み取り用のはさみとバケツを手に、思い思いに山ぶどうをもぎ取りました。

もぎ取ったばかりの山ぶどうをほおばった園児たちは、自然のめぐみいっぱいのおいしさを楽しみました。



こんなに山ぶどうをとっちゃった

ストップ・ザ・ボール大会 遊びながら交通安全

村地域安全協議会(会長・小田祐士村長)が主催する「ストップ・ザ・ボール」大会は10月15日に、役場前で行われました。

ストップ・ザ・ボールとは、元久慈署野田駐在所の及川皓正さんが考案したもので、ゲートボールの要領で遊びながら、交通ルールを学ぶことができます。

大会には、村民など約81人、14チームが参加してプレーを楽しみました。



コロコロ転がるボールにみんな悪戦苦闘!

第12回村長旗争奪クラブ選手権大会 野田分署が初優勝

第12回村長旗争奪クラブ選手権大会は10月16日にライジングサンスタジアムで開催されました。

中学生から社会人野球のOBチームまでの、全5チームが出場し、白熱した試合を展開しました。

決勝戦では、村野球協会OBチームと野田分署チームが対戦し、1-0で野田分署チームが初優勝を飾りました。



(写真上) 初優勝した野田分署チーム
(写真右) 最優秀選手賞の谷地勇気さん(野田分署)

久慈地区ふれあい柔剣道大会 震災に負けない活躍

久慈地区ふれあい柔剣道大会は10月15日、久慈市で開催され、村の選手が多数出場し、多くの入賞者がありました。

3位までの入賞者は下表のとおりです。

剣道 個人戦	優勝	大和 拓矢(高校男子)
	準優勝	前川 瀬成(中学校男子)
		大沢 芽生(高校女子)
第3位	藤本恵利子(中学校女子)	
柔道 個人戦	優勝	佐々木一真(小学校低学年)
	第3位	谷地瑛太郎(高校男子)
		仲村 魁斗(小学校低学年)
柔道 団体戦	第3位	直心館スポーツ少年団

応援職員の受入状況(見込み含む)

配置先	市町村名	期間・延べ人数
総務課	九戸村	5月~3月(11人)
税務課	葛巻町	5月10日~8月9日(3人)
	軽米町	8月10日~11月9日(3人)
住民福祉課	軽米町	7月~平成24年3月(1人)
地域整備課	雫石町	7月~9月(3人)
	北海道留萌市	10月~12月(1人)
	青森県弘前市	平成24年1月~3月(1人)

他市町村から、 人的な応援を受け入れています

村では震災からの復旧・復興のため、増大した事務を処理するために、県町村会を通じて応援職員の派遣を受け入れています。

役場窓口や出先で見かけたときは、よろしくお願致します。



11月11日時点での応援職員
の皆さん(左から九戸村・久保太毅主事、軽米町・川島康夫主任主査、北海道留萌市・能代佳一主査)

野田中学校 浴衣の着付け教室 伝統の装いに親しむ

野田中学校(三船俊光校長)の2年生は10月26日と28日、浴衣着付け教室を行いました。

この授業は、今年から始められた学校支援ボランティアによって行われたもので、着付けの指導に小野寺タキさんが、授業の見守り支援として古山シツエさんが参加しました。

生徒たちは講師たちからの丁寧な指導で、実際に浴衣に袖を通して、浴衣への親しみを深めていました。



華やかな浴衣に身を包んだ野田中生

小学校 田んぼ体験 稲の成長に笑顔

野田小学校の4年生36人は10月12日、同校近くの水田で稲刈りとはせ掛けの体験を行いました。

同水田の稲は児童が5月に田植えをしたもので、6月には草取りや生き物観察などを行っています。

児童は、かまを手に稲をひと束ひと束刈り取り、ひもで束ねてはせ掛けにしました。

初めて稲刈りを体験した沢里悠太くんは「小さかった稲が成長して大きな穂をつけているのを見て感動しました」と話しました。



～ 税の減免制度について ～

国民健康保険税の減免

以下の条件のいずれかに該当する人は役場税務課にご相談ください。

1. 解雇等による雇用保険（失業保険）の受給者で、次の全てに該当する人
 - 雇用保険受給資格者証の離職年月日が平成21年3月31日以降であること
 - 離職日において、65歳未満であること
 - 雇用保険の「特定受給資格者」および「特定理由離職者」であること（雇用保険受給資格者証の「12. 離職理由」欄が11, 12, 21, 22, 23, 31, 32, 33, 34 のいずれかであること）
2. 東日本大震災の被害により、主たる生計維持者の事業・給与等の収入の30%以上の減少（保険等により補填された金額を算入する）が見込まれ、以下に該当する世帯
 - 平成22年中の世帯全員分の所得が1,000万円以下であること。
 - 減少する収入以外の所得が400万円以下であること。
3. 東日本大震災の被害により、主たる生計者が事業を廃止した場合
4. 東日本大震災の被害により、主たる生計者が失業した場合

軽自動車税の減免

被災した自動車等の代わりに軽自動車（原動機付き自転車、二輪車を含む）を購入した場合、平成25年度まで軽自動車税が免除されます。

以下の書類などを持参し税務課で手続きを行ってください。

- ・印鑑
- ・新しい軽自動車の車検証
- ・自動車などの被災が確認できる書類（登録事項等証明書、検査記録事項等証明書など）

自動車税（普通自動車）については県北広域振興局県税室（☎53・4986）にお問い合わせください。

■問い合わせ 税務課☎78・2930

災害復興住宅融資制度の説明会

独立行政法人住宅金融支援機（旧・住宅金融公庫）では被災された住宅の再建・補修のための融資制度の説明会を開催します。

予約制の個別相談も予定していますので、お気軽にご来場ください。

■災害復興住宅融資

国の補正予算を受け、建設・購入の場合、当初5年間は金利0%になるなど、利用しやすい制度になっています。

■日時・場所 12月4日(日) 総合センター
 説明会 13:00～14:30
 相談会（事前予約制）①14:30～、②15:00～、③15:30～、④16:00～

■相談会の事前予約

下記の電話番号にお問い合わせください。

■問い合わせ

事前予約の締切：12月2日（金）
 独立行政法人 住宅金融支援機構東北支店
 ☎022・227・5035

フラメンコギターユニット「ドンアルマス」の復興支援ライブは10月15日に総合センターで行われました。

フラメンコの情熱的な演奏のほか、護身術講座や寿司の炊き出しなども行われ、会場はにぎわいました。



東北の写真館のグループ東北パイオニアグリーンサークル主催の「家族で写真撮影会」は、10月29日に総合センターで行われました。

参加者は、家族や友だちと仲よく笑顔の写真をプロの写真屋さんに撮影してもらい、思い思いの装飾で飾り付けてオリジナルのフォトアルバムを作りました。



J A感謝祭でチェーンソーアートの第一人者、西間健さんによる村の防潮林を使ったデモンストレーションが行われました。完成した作品は村に寄付され、村民ホールに展示されています。



久慈工高の卒業生が多く就職している北野建設(株)から、同校野球場に鉄筋コンクリート製のダックアウトや建築用の足場などが被災地の学校支援のため贈呈されました。



NPO法人プロ・ワークス十和田主催のベトナム民謡鑑賞会では世界無形文化遺産に指定されている民謡クアンホーが披露されたほか、ベトナム料理のフォーがふるまわれました。



下安家での津波被害の様子（写真提供：小野茂雄さん）

震災に関する画像や映像を集めています

津波の記録を後世に引き継ぐため、東日本大震災に関する画像や映像を収集しています。携帯電話やデジカメなど、データの種類は問いません。

■受付窓口・問い合わせ 総務課☎78・2111

復興支援スタッフ
 ご支援ありがとうございます！

強風の中、絶景を満喫

いきいきライフ「姫神山登山」

いきいきライフ「姫神山登山」は10月5日、村内から18人が参加し、行われました。

盛岡市玉山区にある姫神山は、標高1,123mで急な坂道が多い中、参加者全員が自分の足で頂上に登り、絶景を見渡すことができました。

また、登山の帰りに温泉施設でゆっくり汗を流したり、産直で買い物をしたりと、皆さん有意義な一日になりました。



山頂にて絶景をバックに笑顔の記念撮影



2年ぶりに優勝した玉川チーム

玉川が2年ぶりに優勝!

第25回壮年ソフトボール大会

第25回壮年ソフトボール大会（第24回村民体育大会実施競技）が10月9日、山村広場で開かれ村内各地区から7チーム、約120人が参加して行われました。

当日は、天気にも恵まれ、試合を通して各チーム同士で交流を深めながら楽しくゲームを行っていました。決勝戦では、玉川が城内上を10対9で下し、2年ぶりに優勝を飾りました。

図書館だより

※12月から、移動図書館車の時間に変更になります

7月から中学校仮設住宅で本の貸し出しを行っていた、洋野町立種市図書館の図書館車『かもめさん号』が、これから雪の季節となるため、11月21日で終了となります。それに伴い、12月からは久慈市立図書館の図書館車『ぎんなん号』が役場前広場と中学校仮設住宅の2カ所を回ります。



「かもめさん号」
5カ月間
ありがとう!

「ぎんなん号」
12月から
よろしくね!



運行時間【変更後】

- ◇ 中学校仮設住宅 ⇒ 13:00～14:00
- ◇ 役場前広場 ⇒ 14:15～15:30

12月からの運行日程

12月	6日(火)、27日(火)
1月	9日(月)、31日(火)
2月	7日(火)、28日(火)
3月	6日(火)、27日(火)

自分を見直し、健康に!

いきいきライフ「セラピー講座」

いきいきライフ「セラピー講座」は、セラピー&スクールI am (アイアム) による被災地支援で、10月7日から毎週金曜日に行われ、18人の村民が参加しています。

この講座は、キュービックカラーセラピーやドリームセラピーなど様々な内容を全8回にわたって実施しています。

参加者は、自分に思い当たる行動が色に表れていたり、体質にあった健康法を教えてもらうなど、自分を見直す良い機会になっています。



リラクソのしかたを教える高橋優子先生

芸術の秋を満喫!

～親子アート・ワークショップ～

10月15日に「あーとキャラバン in のだ～アートデオヤコ「ユメノマチガデキルマデ」～」が開催されました。この企画は、岩手県立美術館による、親子で楽しみながらアートに親しんでもらうイベントで、24人の親子が参加しました。

また、久慈東高校美術部の生徒や弘前大学の学生もボランティアで協力してくれました。

参加者は、色の付いた木片を自由にくっつけたり、切ったりしながら家や建物を作り、カラフルな街を作っていました。普段出来ない体験に、楽しい時間を過ごしていました。



ユメノマチが完成したよ!



一生懸命紙粘土を組み立てる子どもたち

～クレイアート・ワークショップ～

10月16日には、東京都の(株)乃村工芸社による被災地支援「キッズプログラム・ボランティアキャラバン」が行われました。

8人の小学生が参加し、粘土アニメーションで宮沢賢治作品の「雪渡り」を観たり、紙粘土を使って自由に工作を行いました。

子どもたちは、真剣な表情で紙粘土にペンで色をつけたり、組み立てながら、東京タワーやスイーツ、お弁当などを作り、思い思いに出来上がった作品を満足そうに見ていました。



NODANCHU
の
だんちゅ
野田人

ポメラニアンを飼いたい!!

新山 耶愛さん
20歳・中新山

お仕事は
村の社会福祉協議会で生
活支援相談員をしています。
主に仮設住宅で暮らす人
の相談をしています。
休日の過ごし方は
寝てるか友人と遊びに行
くことが多いです。

あと、カラオケにもよく
行きます。
得意な曲は倅田来未の
「you」です。
得意料理は
オムライスやシチュー、
ハンバーグです!
今、欲しいものは
前、犬を飼っていたので
ポメラニアンが欲しいで
す!
自慢できるものは
去年がんばって勉強した

ホームヘルパー2級の資格
です。
好きな食べ物は
シチュー、チャーハンな
どです。
理想の異性は
見た目が怖そうでも、意
外と優しい、ギャップのあ
る人が好きですね。
背が高く細マッチョな
人がいいです。
顔のタイプは「NEWS」
の山下智久です!

1歳になったよ

わが家で

けんと
健斗くん
(上泉沢)
釜谷祐也さん・郁美さん 二男
パパ・ママより
元気でやさしい子に
育ってね!



みんなの声 イラストコーナー

①親子かな、仲良く泳いでるね。
打座悠希くん(門前小路・10歳)

②おはよう!
佐藤優成くん(門前小路・5歳)

③ヘンなスタイルがモテト!
佐藤かなん(門前小路・10歳)

④おいしそうなニシン、食べたい。
打座怜汰くん(門前小路・4歳)

⑤生き物の表情がケンド!!
打座千尋さん(門前小路・11歳)

たんけんクイズ

ほかほか!
蒸し焼きいも
が5人に当たる!

先月号の当選者は、佐藤優成くん(門前小路)、佐藤かなんさん(同)、打座怜汰くん(同)、打座悠希くん(同)、打座千尋さん(同)です。おめでとうございます。
締め切りは守ってネ♡

◎クイズです
観光物産館はあがる店内
に入り、3つの文字を探し
並べ替えてください。その
言葉は?
ハガキにクイズの答え、住
所、地区名、氏名、年齢、
電話番号を記入し、
〒02818201
野田村大字野田20-14
野田村役場総務課
広報のた係まで。
(12月5日(月)締め切り)
※イラストなど自由にお書
きください。

放射線量は今回も正常範囲内

村内放射線量調査結果

測定場所	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日
宇部集積所	0.06	0.12	0.15	0.11
陸中野田駅	0.10	0.08	0.05	0.10
役場	0.03	0.06	0.12	0.12
米田集積所	0.07	0.07	0.08	0.13
横合中央公民館	0.13	0.11	0.13	0.05
大葛公園	0.07	0.08	0.04	0.03
野田玉川駅	0.05	0.05	0.07	0.10
下安家漁協	0.03	0.08	0.07	0.10
野田小学校	0.05	0.12	0.10	0.10
野田中学校	0.10	0.07	0.13	0.15
野田村保育所	0.10	0.13	0.12	0.10
日向保育所	0.10	0.15	0.13	0.07
玉川保育所	0.09	0.07	0.15	0.07

単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ (毎時マイクロシーベルト)

東京電力福島第一原子力
発電所での事故に伴い、村
では9月から放射線量の測
定を行っています。
今回の測定結果は最大で
 $0.15\mu\text{Sv}/\text{時}$ で、国の

定める暫定基準値 $20\text{mSv}/\text{年}$ ($3.8\mu\text{Sv}/\text{時}$)
を大幅に下回りました。
■問い合わせ
住民福祉課
☎78・2927

陸上自衛隊 高等工科学校生徒を募集します

～災害時に必要とされる人に～

	一般試験	推薦試験
試験種目	1次試験: 筆記試験(5教科、作文)	口述試験、基礎学力試験(論述問題含む)、身体検査
受付期間	平成24年1月6日(金)まで	平成23年12月16日(金)まで
試験日	1次試験 平成24年1月14日(土)	平成24年1月7日～9日の指定する1日

■問い合わせ
自衛隊久慈連絡所 ☎53・5419



愛宕町周辺で行方不明者を懸命に捜索する自衛隊員(3月15日撮影)

のだスナップ集



三ツ甚句の会の流麗な舞
(10/22 村総合文化祭)



乾電池で走る電気自動車に乗り
ました! (10/22 村総合文化祭)



総合センターでは個性豊かな
展示が観客を魅了しました
(10/22 村総合文化祭)



2年生の職場体験学習の発表
(10/22 野田中学校文化祭)



5年生 組体操「四季」
(10/29 小学校学習発表会)



2年生「みんなを笑顔に わっしょい!」
(10/29 小学校学習発表会)



どっちがたくさんピンボールを集められる
かな? (10/30 久慈工高 久慈工祭)

戸籍の窓口

10月受け付け分
(敬称略)

♡いつまでもお幸せに
(平清水 智 上明内
竹内 博美 上明内)

■ご冥福を祈ります
中野 浩 (51) 愛宕町
川向 芳太郎 (96) 米田
大沢 吉蔵 (98) 北区
前川 登美子 (96) 米田
種綿 つや子 (61) 港

人の動き
男 2,281人 (-3)
女 2,403人 (+1)
計 4,684人 (-2)

世帯数 1,648世帯 (+3)

○村内の交通事故 人身事故 0件
物損事故 2件

○救急車出動件数 22件
(うち村外 7件)

○飲酒運転検挙者数 0人
(平成19年8月からの累計3人)

交通死亡事故ゼロ継続中
1168日 (10月末現在)

駐在所より
児童虐待防止対策の推進
早期発見のポイント~「こんな子どもは虐待かも!」
①子どもに不自然な打撲やけこの跡がある
②子どもの泣き声や、子どもを怒鳴りつける声が頻りに聞こえる
③夜遅くまで遊び、家に帰らなかった子どもがいる
④裸にされた子どもが外で泣いている
⑤パチンコ店駐車場の車内に子どもが放置されている

「あなた」からの連絡が、子どもを虐待から守るための大きな一歩となります。

■問い合わせ 野田駐在所 ☎78・2161

ほっとひといき
▼久慈工祭で販売されたお弁当を私も買って食べました。お母さんのお弁当を参考にしたとことで、とてもおいしかったです。実は私も母は母の弁当を食べています。忙しい中ほほ毎日作ってくれる母に感謝。塩分と油は少なめでお願いします ☑

最低賃金645円に!

県の最低賃金は、11月11日から時間額644円から645円になります。

■問い合わせ
県労働基準部賃金室
☎019・604・3008

法律相談会

■日時 (予約制)
12月8日(木) 10:00~15:00
12月9日(金) 9:30~14:30

■場所 県北広域振興局保健福祉環境部相談室

■対応弁護士 石橋乙秀弁護士
■対象 母子家庭の母、寡婦および父子家庭の父

■申し込み・問い合わせ
県北広域振興局保健福祉環境部
☎0194・53・4982

家畜伝染病予防法が改正されました

家畜伝染病予防法が改正され、家畜の所有者は、家畜の飼養状況などを、毎年家畜保健衛生所に定時報告することになりました。

■報告内容 家畜保健衛生所から郵送された所定の様式に、10月1日現在の飼養状況を記入し、家畜保健衛生所に郵送または持参して提出

■報告期限 12月15日

■対象家畜 牛、水牛、めん羊、山羊、鹿、豚、いのしし、馬、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥

■問い合わせ
県北家畜保健所
☎0195・49・3006

いわて就職ガイダンスの開催

■参加対象者
平成25年3月卒の学生など

■日時 平成24年1月15日(日)
12:30~16:30

■場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

■問い合わせ
ふるさといわて定住財団
☎019・653・8976

平成23年度冬の交通事故防止 県民運動実施要項

「一滴が 涙に変わる その飲酒」

■実施期間
12月1日(木)~10日(土)

「求職者支援制度」スタート!

ハローワークでは、雇用保険を受給できない求職中の人を対象として、職業訓練や給付金の支給、就職支援などを行っております。

■問い合わせ
労働局職業安定部
☎019・604・3004

農業用廃プラスチックを回収します

■回収日時 11月28日(月)~12月2日(金) 9時~17時

■回収場所 JA新しいわて野田支所

■回収方法 塩化ビニール類、ポリエチレン類ごと(マルチフィルムは色別) ※処理費用がかかりますのでご注意ください。

■問い合わせ
JA新しいわて野田支所 ☎78・2155
産業振興課 ☎78・2926

融資制度のご案内

日本政策金融公庫では、東日本大震災で被害を受けた中小企業向けの事業資金および教育資金の取り扱いを行っています。

■事業資金 (震災セーフティネット関連)
○融資額 4,800万円以内 (一般貸付とは別枠)
○利率 年2.15%~
○返済期間
運転資金 (8年以内)、設備資金 (15年以内)
※雇用の維持や拡大を図る場合や前年より売上高等が一定値減少している場合、さらに金利が下がる場合があります。

■教育資金
○対象者 高校、短大、大学、専門学校などへ入学・在学する学生の保護者 (所得制限があります)
○融資額 学生・生徒一人につき300万円以内
○利率・返済期間 年2.85%・15年以内 (在学期間は元金据置)

■問い合わせ
日本政策金融公庫八戸支店
☎0178・22・6274

平成23年度いわて年末年始 無災害運動実施要項

「危険を見つけて 無くそう災害
あなたの無事が 家族の願い」

■実施期間
平成23年12月1日(木)~1月31日(火)

救急講習会の開催

■日時
平成23年12月11日(日)
9:00~12:00

■場所
久慈市防災センター視聴覚研修室

■参加対象者
中学生以上 30名 (印鑑持参)

■申込期間
11月14日(月)~12月9日(金)

■受講料 無料

■問い合わせ
久慈消防署警防救急係
☎0194・53・0119

おわびと訂正

広報のだ10月号14ページののだスナップ集、右から3枚目の写真の説明は「けしねの会」ではなく、「三ツ甚句の会」でした。
お詫びして訂正いたします。関係者にはご迷惑をお掛けしました。



11月は「ねんきん月間」

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、皆様に年金制度への理解を深めてもらえるよう、様々な取組みを実施します。

年金受給権確保の取組みとして、国民年金保険料に未納のある人へ11月から12月にかけて納付書を送付し、日本年金機構が委託した事業者と連携し、電話督促や戸別訪問などを行います。

まだ納付が済んでいない方は、コンビニや金融機関などで、早めに納付しましょう。

■問い合わせ 二戸年金事務所 ☎0195・23・4111(代)
住民福祉課 ☎78・2928 (141)

桜庭昇
留申の時 相馬方 ☎59 382936

グラフィックデザイナー
似顔絵作家 1級賞状さくし教授

昭和31年からひたすら
歩み続けて来ました。

グラフィックデザイナー
グラフィックデザイン
人生の節目に、お子さまの記念贈り物に
デフォルメ似顔絵

「似顔絵を依頼の方へ」大きな5判・画工料モノクロ1万3千円・カラー1万9千円・用紙する物1正面斜め横向き写真(はつきり分る物)各一枚を送付まとめて申し込みの場合割引引きします

風邪の多い季節
寒さ嫌いなにはたまらないものです。
温かい飲み物をお出ししますね。

解決策を見つけ
前に進む勇気を持つよう!

Beauty Salon
セキモト
九戸郡野田村大字野田28-12-7
TEL 0194-78-2475

成人式予約承ります!
干支サイフを進呈中!

お願い
カワシンジュガイは、村指定天然記念物です。
許可なく取り扱いできません。

■問い合わせ 村教育委員会 ☎78・2936

皆さまの応援ありがとうございます!

大震災の発生から、10月中に皆さまからいただいた支援の状況をお知らせします。

■ボランティア(受付終了) 0人(累計12,892人)
■炊き出しボランティア 3回(累計83回)
■支援物資(受付終了) 0件(累計820件)
■災害義援金 73万円(累計8,940万円)

一歩ずつ
前に



今季初めての漁を終え、野田漁港にもどる第十八浜山丸
震災をほぼ無傷で生き残り、奇跡の船といわれています

自営定置、待望の初起こし

自営定置網の網起こしは10月20日に震災後初めて行われ、野田漁港でサバ・サケ・シヨッコなど計5トが水揚げされました。

この日出航した第十八浜山丸は奇跡的に震災でほとんど損傷がなかったものの、僚船や網などが被災。それでも約5トの船を購入し、秋サケ漁の本番に漁が間に合いました。

自営定置網をとりまとめる大謀だいぼうの外館久さんは「何よりもまず、網を再開できたことが一番の喜び。海に出て仕事をするのが漁師」としみじみ語りました。



津波で流され、港外を漂流する第十八浜山丸



水揚げされた大量の魚を選別する乗組員